

2018年3月期 通期 決算説明会資料



2018年5月31日
株式会社昭文社

証券コード: 9475

資料の内容

- | | | |
|---|--------------------|--------|
| 1 | 2018年3月期 通期 連結決算概要 | P3-11 |
| 2 | 2019年3月期 通期 業績の見通し | P12-15 |
| 3 | 参考資料 | P16-18 |

【本資料の記載数値・内容について】
百万円未満は切り捨てております。
%表示は小数第1位未満を四捨五入しております。

【本資料の内容についてのお問い合わせ先】
株式会社昭文社 執行役員管理本部長 加藤 弘之
電話 03(3556)8171

資料の内容

1 2018年3月期 通期 連結決算概要

2 2019年3月期 通期 業績の見通し

3 参考資料

2018年3月期 通期 連結決算概要

電子売上の売上減少、市販出版物においては返品額が減少したものの、地図商品・ガイドブック商品の売上が大幅に減少したため、売上高は11.2%の減収。営業・経常・当期純利益のいずれも赤字。

	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期実績	単位:百万円		単位:百万円	
			増減額	増減率	2018年3月期 (通期予想)	増減額 (予想比)
売上高	10,314	9,158	-1,156	-11.2%	10,320	-1,161
営業利益 (売上高比、以下同)	-2,276 -22.1%	-1,060 -11.6%	1,215	-	-850 -8.2%	-210
経常利益	-2,206 -21.4%	-1,018 -11.1%	1,188	-	-810 -7.8%	-208
親会社株主に帰属する 当期純利益	-3,423 -33.2%	-1,768 -19.3%	1,655	-	-870 -8.4%	-898
1株当たり当期純利益 (円)	-205.88	-97.28	108.60	-	-47.86	-

※上記予想は2017年10月31日発表

2018年3月期 通期 分類別売上高(前期比較)

電子売上は、PND(簡易型カーナビゲーション)関連の売上減少、市販出版物は、地図商品の売上減少や前期にあったようなガイドブックシリーズの改訂出版がなかったことにより大幅減収

	2017年3月期通期		2018年3月期通期		増減額	増減率
	実績	構成比	実績	構成比		
電子売上	2,842	27.6%	2,319	25.3%	-522	-18.4%
手数料収入	39	0.4%	72	0.8%	32	81.9%
市販出版物合計	5,876	57.0%	5,372	58.7%	-504	-8.6%
地図	2,086	20.2%	1,787	19.5%	-298	-14.3%
雑誌	2,876	27.9%	2,804	30.6%	-72	-2.5%
ガイドブック	811	7.9%	666	7.3%	-144	-17.8%
実用書	102	1.0%	113	1.3%	10	10.3%
特別注文品	736	7.1%	624	6.8%	-112	-15.3%
広告収入	818	7.9%	770	8.4%	-48	-5.9%
合計	10,314	100.0%	9,158	100.0%	-1,156	-11.2%

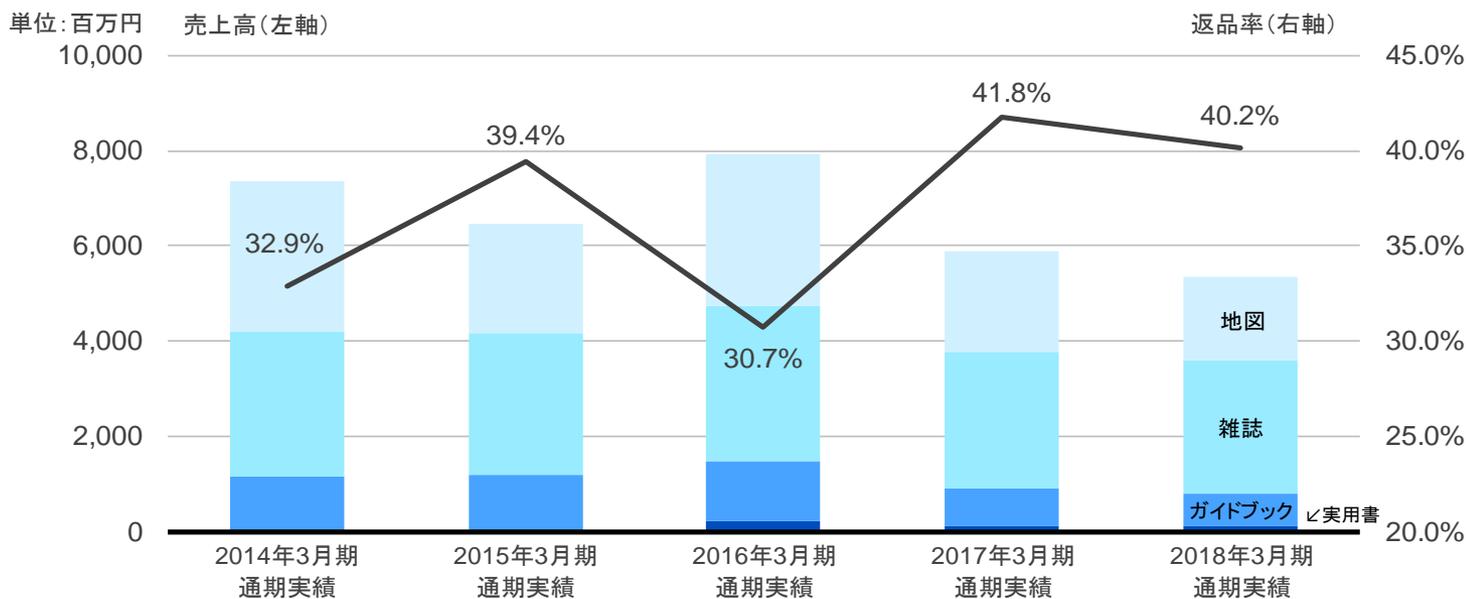
単位:百万円

2018年3月期 通期 ハイライト

- PND(簡易型カーナビゲーション)関連の売上減少に加え前期に失注した大型継続案件の影響を受け、電子売上は前期に比べ5億22百万円減少
- 市販出版物は返品抑制のため市場在庫管理を徹底したことにより、返品額は6億12百万円減少したものの、地図商品の売上減少や前年にあったようなガイドブックシリーズ等の改訂がなかったため、前期に比べ5億4百万円減少
- 特別損失として、持分法変動損失1億17百万円、解約違約金2億32百万円、減損損失3億44百万円を計上
- 現地発着型ツアーの予約・販売サービス「MAPPLE Activity(マップルアクティビティ)」を7月に開始し、ハワイ、グアム、シンガポールに現地法人の子会社を設立
- 2017年7月、ヘッドスプリング株式会社と新規事業の立ち上げを目的とする合併会社株式会社マップル・スプリングを設立

2018年3月期 通期 市販出版物売上高・返品率の推移

返品抑制のため市場在庫管理を徹底したことにより、返品額は売上の減少分を超えて減少したため、返品率は改善



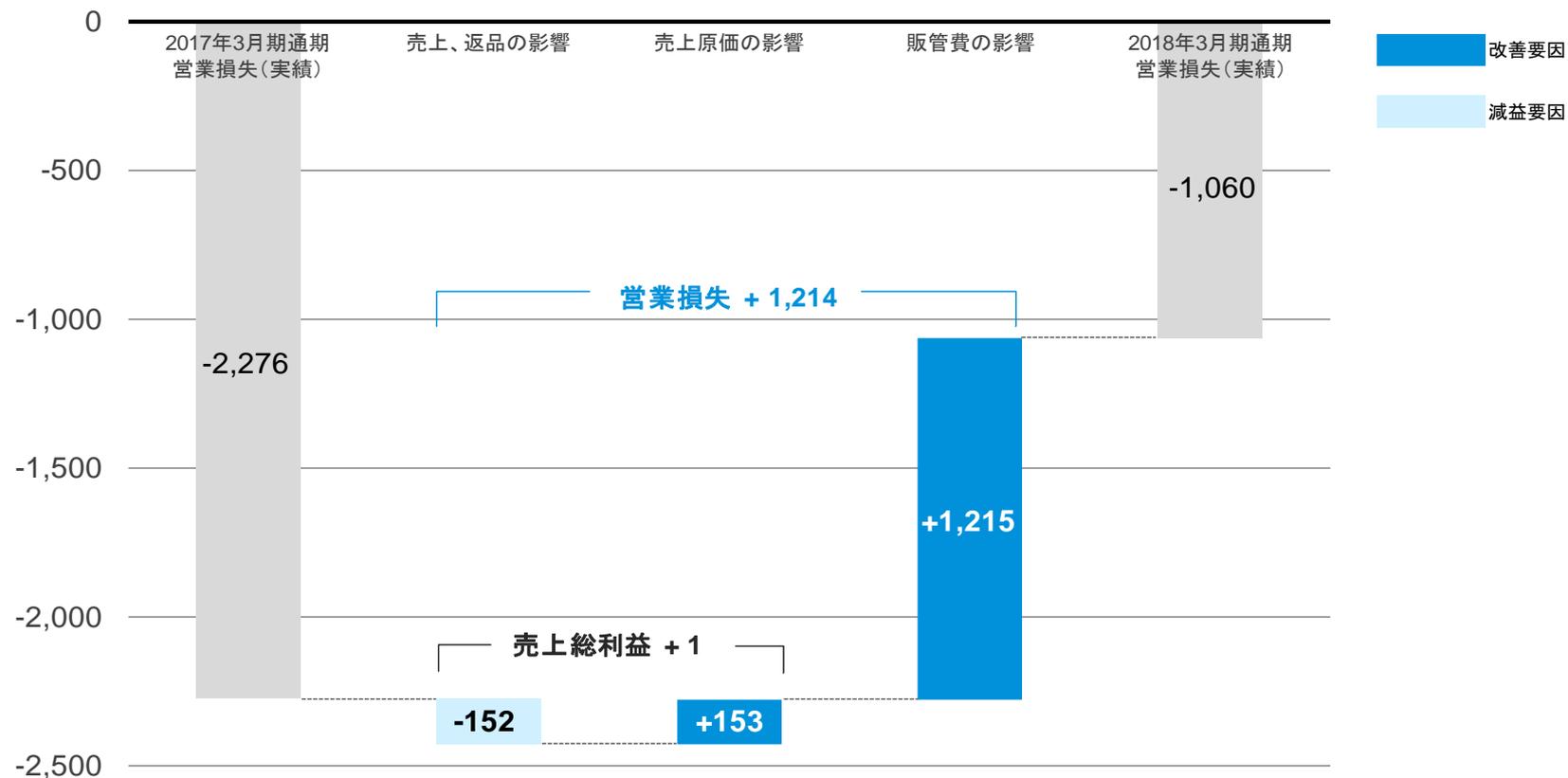
単位：百万円

市販出版物売上高合計	7,363	6,472	7,950	5,876	5,372
地図	3,165	2,318	3,206	2,086	1,787
雑誌	3,045	2,949	3,281	2,876	2,804
ガイドブック	1,121	1,173	1,246	811	666
実用書	29	31	214	102	113
市販出版物返品率	32.9%	39.4%	30.7%	41.8%	40.2%

2018年3月期 通期 営業損益の増減分析(前期比較)

売上が減少したものの、事業構造改革の効率化の効果や人員削減による人件費削減効果、賞与引当金計上額の減少等により売上原価、販管費ともに減少し、営業損失は改善

単位：百万円



2018年3月期 通期 販管費・設備投資額・償却費の状況

販管費は人件費削減効果や賞与引当金の減少などに伴い、前期比で12億15百万円の減少。設備投資は主に旅ナカ事業、地域創生事業強化のためのシステム投資を実施

単位:百万円

	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期実績	増減額	増減率
売上高	10,314	9,158	-1,156	-11.2%
販管費合計	4,409	3,193	-1,215	-27.6%
販売促進費	140	86	-53	-38.1%
広告宣伝費	176	109	-67	-38.3%
従業員給与・賞与	1,462	1,128	-334	-22.9%
賞与引当金繰入額	366	166	-199	-54.5%
減価償却費	92	88	-4	-4.8%
研究開発費	67	41	-26	-38.6%
その他	2,102	1,573	-529	-25.2%
設備投資額合計	686	361	-324	-47.3%
有形固定資産	59	54	-5	-9.3%
無形固定資産	626	307	-319	-51.0%
償却費合計	429	436	6	1.5%
有形固定資産	171	128	-42	-24.8%
無形固定資産	258	307	48	18.9%

2018年3月期 通期 連結貸借対照表

当期純損失計上に伴い流動資産の構成比が減少

単位:百万円

	2017年3月期末		2018年3月期末		増減額	増減主要因
	実績	構成比	実績	構成比		
資産合計	24,550	100.0%	22,188	100.0%	-2,362	
流動資産	14,528	59.2%	12,378	55.8%	-2,150	受取手形及び売掛金、有価証券、商品及び製品の減少
固定資産	10,022	40.8%	9,810	44.2%	-211	
負債合計	4,954	20.2%	4,575	20.6%	-379	
流動負債	4,113	83.0%	3,708	81.1%	-405	賞与引当金の減少
固定負債	840	17.0%	866	18.9%	26	
純資産合計	19,596	79.8%	17,612	79.4%	-1,983	
株主資本	18,960	96.8%	16,828	95.6%	-2,132	親会社株主に帰属する当期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少、配当金の支払による資本剰余金の減少
その他の包括利益累計額	608	3.1%	758	4.3%	150	
新株予約権	27	0.1%	26	0.1%	-1	
負債・純資産合計	24,550	100.0%	22,188	100.0%	-2,362	

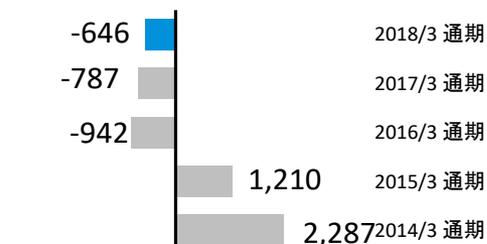
2018年3月期 通期 連結キャッシュ・フロー計算書

売上高の大幅な減少を主な要因として営業キャッシュ・フローはマイナス

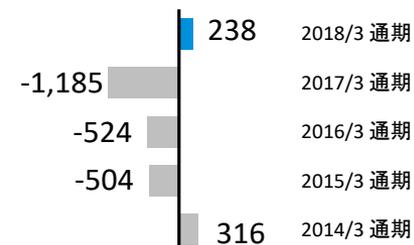
単位:百万円 キャッシュ・フロー 過去5年間推移 単位:百万円

	2017年 3月期 通期実績	2018年 3月期 通期実績	増減額	増減主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	-787	-646	140	税金等調整前当期純損失の改善 +1,698 減損損失 -859 賞与引当金の増減額 -729
投資活動による キャッシュ・フロー	-1,185	238	1,424	前期にあった有価証券の取得による支出が当期なかったことによる影響 +1,303
財務活動による キャッシュ・フロー	-354	-363	-9	
現金及び 現金同等物に係る 為替差額	—	4	4	
現金及び 現金同等物の 増減額(－は減少)	-2,326	-767	1,558	
現金及び 現金同等物の 期末残高※	7,899	7,132	-767	

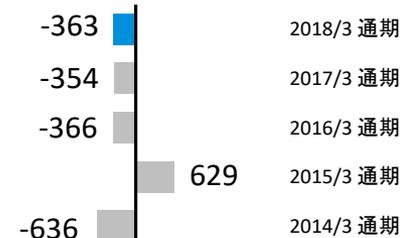
営業活動によるキャッシュ・フロー



投資活動によるキャッシュ・フロー



財務活動によるキャッシュ・フロー



資料の内容

1 2018年3月期 通期 連結決算概要

2 2019年3月期 通期 業績の見通し

3 参考資料

2019年3月期 通期 業績の見通し(前期比較)

話題性のある新製品の出版を継続するとともに、旅ナカ事業、地域創生事業に注力することで黒字達成を目指す

単位：百万円

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期予想	増減額	増減率
売上高	9,158	9,910	751	8.2%
営業利益 (売上高比、以下同)	-1,060 -11.6%	90 0.9%	1,150	-
経常利益	-1,018 -11.1%	150 1.5%	1,168	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,768 -19.3%	90 0.9%	1,858	-
1株当たり当期純利益 (円)	-97.28	4.95	102.23	-
設備投資額合計	361	295	-66	-18.4%
有形固定資産	54	65	10	20.2%
無形固定資産	307	230	-77	-25.2%
償却費合計	436	155	-281	-64.5%
有形固定資産	128	120	-8	-6.8%
無形固定資産	307	35	-272	-88.6%
研究開発費	41	10	-31	-76.0%

2019年3月期 通期 分類別売上高の見通し(前期比較)

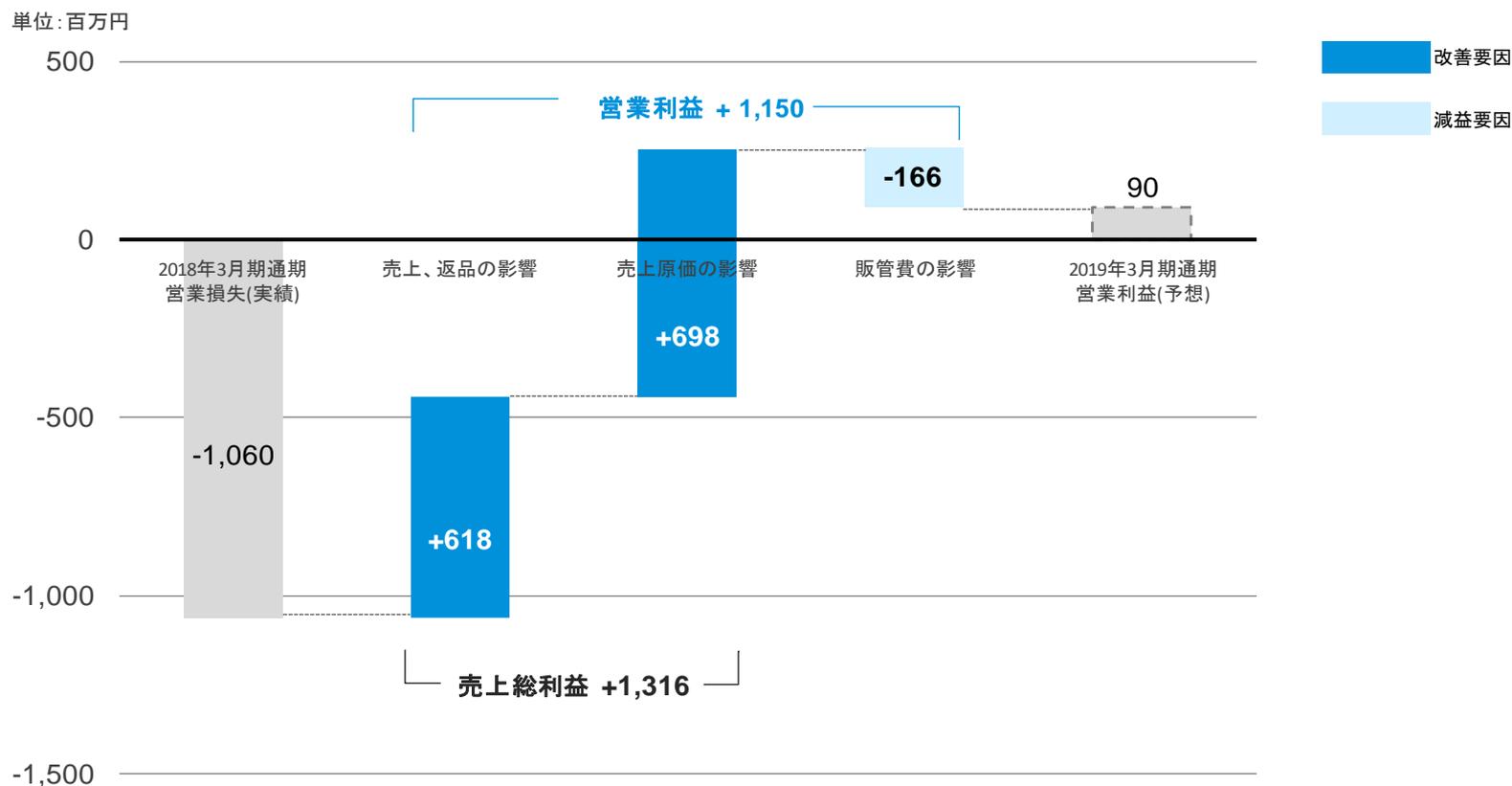
市販出版物はガイドブックの新刊シリーズ投入と返品抑制により増収見込み

単位:百万円

	2018年3月期通期		2019年3月期通期		増減額	増減率
	実績	構成比	予想	構成比		
電子売上	2,319	25.3%	2,540	25.6%	220	9.5%
手数料収入	72	0.8%	210	2.1%	137	189.7%
市販出版物合計	5,372	58.7%	5,630	56.8%	257	4.8%
地図	1,787	19.5%	1,880	19.0%	92	5.2%
雑誌	2,804	30.6%	2,900	29.2%	95	3.4%
ガイドブック	666	7.3%	710	7.2%	43	6.5%
実用書	113	1.3%	140	1.4%	26	23.5%
特別注文品	624	6.8%	760	7.7%	135	21.8%
広告収入	770	8.4%	770	7.8%	0	0.0%
合計	9,158	100.0%	9,910	100.0%	751	8.2%

2019年3月期 通期 営業利益の増減分析(前期比較)

売上の拡大、制作拠点の集約と内製化による効率化により、営業利益黒字達成が目標



資料の内容

1 2018年3月期 通期 連結決算概要

2 2019年3月期 通期 業績の見通し

3 参考資料

当社グループ概要

当社グループは当社、連結子会社6社、持分法適用関連会社1社および持分法非適用関連会社1社の計7社で構成(2018年3月31日現在)

当社	社名	株式会社昭文社		
	創業	1960年5月		
	設立	1964年6月		
	社員数	322人(2018年3月31日現在)		
	上場市場	東京証券取引所 市場第一部		
	本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目1番地		
	事業内容	当社グループは、独自開発による地図データ・ガイドデータを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売や、デジタルデータベースの企画・制作・販売及びそれらを活用したサービスの提供等「地図・旅行情報提供事業」を展開しております。		
連結子会社	社名	株式会社昭文社クリエイティブ	株式会社マップル・オン	株式会社トリプコン
	出資比率	100%	100%	100%
	事業内容	当社電子事業であるデータベースの企画・制作	モバイル(携帯・スマートフォン)向けアプリケーションソフトの企画開発・販売及びWeb広告事業	旅行関連プラットフォーム提供事業
	社名	SHOBUNSHA HAWAII CORPORATION	SHOBUNSHA GUAM CORPORATION	SHOBUNSHA SINGAPORE PTE.LTD.
	出資比率	100%	100%	100%
	事業内容	現地発着型ツアーの予約事業	現地発着型ツアーの予約事業	現地発着型ツアーの予約事業

注意事項

本資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは発表日現在において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、多様な要因によって、これらの業績見通しと大きく異なる結果になりうることをご承知おき願います。

これらの業績見通しに全面的に依拠して、投資判断を行うことは控えられますようお願いいたします。